

患者さんへ

「画像ベースのノイズ除去を行なったパーフュージョン撮影※の検査結果の影響」

※パーフュージョン撮影とは臓器や組織の毛細血管レベルの血流(灌流)を画像として可視化し、どれくらい血液が流れているかを調べる検査方法です。

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2025 年 1 月 1 日より 2025 年 8 月 31 日までに脳梗塞を疑い当院放射線科にてパーフュージョン CT 撮影を受けられた方/受けられる方
2 研究目的・方法	パーフュージョン CT 検査は、脳梗塞を疑われた際に有用な検査ですが、一方、被ばくを極力抑えて撮影しているため画像にノイズが多く、脳梗塞が小さい場合には判断がつきにくく、MRI で評価を行っています。 この研究は、診療録の情報から被ばくを低減した撮影によって得られた画像から撮影後に行える画像ベースの逐次近似を行いノイズの低減を行なった画像とパーフュージョンの結果を比較し画像の判読性の改善が見られるかを評価します。 施設院長許可後(2025 年 6 月予定) ～ 2026 年 4 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	身長・体重・年齢・性別・画像データ 等
5 個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 湘南鎌倉総合病院 放射線科 清水 利光 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 連絡先:0467-46-1717